



陽光

(ひかり)

令和7年10月16日(木)
札幌市立光陽中学校
学校便り 第6号
発行者: 荒木 信幸

学校教育目標 未来を築く生徒の豊かな人間性の育成をめざして

①高い知性を育てる ②豊かな心情を育てる ③健康な身体を育てる ④ねばり強い実践力を育てる

「文部科学省 全国学力・学習状況調査」の結果について

秋冷の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、4月17日(木)に「全国学力・学習状況調査」が全国一斉に行われ、中学校においては3年生が調査の対象となりました。この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持と向上の観点から、①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析をすることにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てること、③それらの取組を通して教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、を目的に実施されたものです。その調査結果が7月に公表され、これを受けて本校では、3年生一人一人に個人票を配付いたしました。

つきましては、本校生徒の学習状況や調査結果から考えられる課題、改善の方向等につきまして、全学年の保護者の皆さまにお知らせいたします。ぜひ、ご覧いただき、学習状況のとらえとしてお役立ていただきますようお願いいたします。

なお、本校では学校間の序列化や過度な競争を招かぬよう配慮する意味から、本市の他の学校と同様に平均正答率などの数値結果の公表はいたしませんのでご了解ください。

また、本調査に関するお問い合わせにつきましては、本校教頭(763-0066)までご連絡くださるようお願いいたします。

【調査の内容】

(1) 教科に関する調査

- ①身につけておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【記号の見方】

- △全国平均を3ポイント以上、上回っている。
- ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている(+3ポイント以内)
- ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている(-3ポイント以内)
- ▼全国平均を3ポイント以上、下回っている。



子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

【国語科】

本 校 の 概 要	今回の調査における課題	改善の方向
【内 容】 「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「書くこと」 ▼全国平均を下回っている。 「読むこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 【評価の観点】 「知識・技能」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「思考・判断・表現」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	・書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えること。 ・目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと ・読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。	・書くことの学習活動の充実。日本語を正しく扱うことができるように、語彙を増やしたり文章を推敲したりすることに取り組む。 ・読むことの学習活動の充実。事実即して書かれた文章を読み取る。引き続き、国語科を中心に行うが、他の教科においても取り組む。

【数学科】

本 校 の 概 要	今回の調査における課題	改善の方向
【領 域】 「数と式」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「図形」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「関数」 ▼全国平均を下回っている。 「データの活用」 ▼全国平均を下回っている。 【評価の観点】 「知識・技能」 ▼全国平均を下回っている。 「思考・判断・表現」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	・相対度数の意味を理解していること。 ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。 ・数量を文字を用いた式で表すこと。 ・不確定な事象の起こりやすきの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	・基礎、基本の定着を徹底できるように取り組む。 ・協働的、対話的に取り組むことで、根拠を明確にして数学的な事象を説明する学習活動の充実。 ・日常生活などの具体的な問題場面を取り上げ、より意欲的に取りくむことができるような学習活動の充実

【理科】

今回の調査における課題

「地球」を柱とする領域

- ・気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いていること。
- ・気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できること。
- ・露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できること。

「粒子」を柱とする領域

- ・科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できること。

改善の方向

- ・身近な現象と関連付けながら、基礎的な科学概念を獲得することができるような体験的な学習活動の充実。
- ・観察実験の結果を分析、解釈する活動において、協働的、対話的に取り組む学習活動の充実。

※理科はI R T方式で行われたため、領域や観点ごとの全国平均との比較はありません。

<生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査>

すべての質問について、肯定的な回答を合計し、全国平均と比較した結果について、特徴的なものをお知らせします。

(1) 全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が高いもの

- ・国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてください。
- ・国語の勉強は好きですか。
- ・国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを教えてください。
- ・理科の勉強は好きですか。
- ・あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- ・これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
- ・理科の授業の内容はよく分かりますか。

(2) 全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が低いもの

- ・ 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- ・ 数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか。
- ・ 数学の勉強は得意ですか。
- ・ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- ・ 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
- ・ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
- ・ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- ・ 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

上記より、本校では国語科の授業に意欲的に取り組み、教科担任と良好な人間関係を気付くことで力を伸ばしている生徒が多いようです。教師のサポートを更に実感できるような体制を他教科や他学年においても整えていきたいと思います。

また、国語科や理科では、理解できていると考える生徒が多いことが伺えます。しかしながら、本調査における結果が示すように、さまざまな内容や領域、観点の正答率が高いとは言えないことから、自分の学習の成果を正しく評価できている生徒は、昨年度と同様にあまり多くはないようです。

一方で、数学科が難しいあるいは苦手であると考えたり、1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットを活用した経験がないと考えたりする生徒が多いことが伺えます。今後、本校の授業の在り方について改善すべき点であるものと捉えています。

ここに挙げたものは、あくまでも生徒の一面にすぎませんが、学校では生徒のよさをさらに伸ばし、課題の克服に向けて、教育課程の充実や授業の工夫改善に努めていきたいと思います。